

普及活動情勢報告（令和5年1月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

新たな担い手確保に向けて ～オンライン農業ツアー・冬編～



高知での農業の魅力発信！

1月21日、春野町仁ノのキュウリほ場から全国の就農希望者に対し、オンライン農業ツアーを開催し、キュウリ産地のPRを行いました。Iターンで高知県に移住した就農4年目の就農者から、農業を選んだ経緯、就農までにいくつかの決断があったことなど話していただきました。事前に収穫作業をライブ発信したこともあり、視聴者から「規格外のキュウリはどこに出荷していますか？」、「収穫時の規格分別はどのようにしていますか」など具体的な質問がありました。「コンテナを3段準備しておき、規格外品は、一番下段のコンテナにいている」と回答するなど、終始なごやかにツアーを行うことができました。

普及所は、今後も関係機関と連携しながら新規就農支援を行っていきます。

新規就農者の就農状況を確認しました ～就農状況報告会を開催～



報告会での聞き取り

令和5年1月10～26日に、高知市の新規就農者（次世代人材投資事業経営開始型活用者等）28戸を対象に就農状況報告会を開催しました。普及所は関係機関とともにR4年7～12月分の作業日誌やR5園芸年度の進捗状況を確認し、今後の目標や課題について新規就農者とともに検討しました。新規就農者からは、「目標達成に向け、土づくりや病害虫の発生に気をつけていく。」など主体的な意見が出されました。

引き続き、普及所は関係機関と連携しながら、新規就農者の経営安定につながる支援を継続していきます。

水稻産地の振興に向けて ～介良沖ノ丸勉強会～



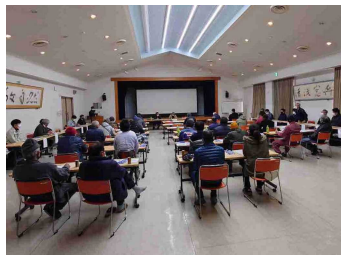
勉強会の様子

1月6日、介良白水公民館において、介良沖ノ丸勉強会が開催され、生産者14名が出席しました。

普及所からは、酒米‘土佐麗’や低コスト肥料‘Jコート700’を用いた実証試験結果について報告しました。生産者からは、「酒の輸出量が増えている。高品質の酒米を生産していきたい。」や「肥料代が高騰している。低コスト肥料を活用していきたい。」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も水稻産地の振興に向けて支援を行っていきます。

資材費を抑え、収益を増やそう！ ～露地ショウガでの実証結果の紹介～



研修会の様子

1月11日、高知市中山間構造改善センターでJA高知市のマル朝生姜生産組合が肥料・農薬研修会を開催し、露地ショウガ生産者38名が出席しました。

普及所からは、定植から出芽まで使用する被覆資材についての実証結果を紹介し、新規資材は慣行の資材と比較し、同等の保温効果があったことを説明しました。また、安価であることから、今後、耐久性を検証し産地への普及を目指す予定です。

生産者からは、「少しでも資材費を抑えたい」という声が聞かれており、普及所は今後もJAと連携し、課題解決に向け支援していきます。

冬場のハウス内環境改善化 ～春野ナス部会目慣らし会～



目慣らし会の様子

1月20日、JA高知県春野営農経済センターにおいて、米ナス目慣らし会が開催され、生産者5名が参加しました。

普及所は、ナス部会で取り組んでいるハウス内環境改善の事例を紹介しました。実証農家からは「確かに長形果などが気にならなくなった。樹の状態も良いと思う。栽培が良くなることであれば、皆も取り組んでみてはどうだろうか」との意見がありました。

今後も普及所はJAと連携し、ナス部会の取り組みを支援していきます。